

## はじめに

私は昔から「自分は人と違う」と感じながら生きてきました。幼いころから人と接する時、肉体から意識が抜け出ている、自分と相手が話している様子を、上の空間から眺めている感覚（幽体離脱）がありました。二歳の頃には（既に亡くなっている祖父が）「席に座っている」と母に話しており、自分の部屋の机に向かっていると常に誰かが背後にいる気配がして、何とも言えない感覚があったのです。目をつむるといつも同じ映像が映り、衛星通信をしているかのように宇宙空間で隕石のようなものがゆっくりと回り続けているのが見えていました。『自分は違う星から来た』という感覚があり、人から『変わっているね』と言われると『私は宇宙人だから』と返事をしており、ジャンケン大会で優勝賞品を母にあげたいという思いで、勝ち抜いた際には、ジャンケンの手を全て先読みしていたのです。中学生の時には『幽霊を見たい』と念じていたところ、部活の最中に霊を目撃し、一緒に練習中だった部活の先輩も全く同じ霊を目撃したため、顧問の先生が霊能者を呼ぶ騒ぎになりました。

勉強机に向かってノートにペンを走らせていると、突然『自分はいつか本を出版する』という根拠のない確信が降り、その確信はこの本となって具現化しました。某大人気国民的アイドルのイベントに参加した際は、本命のメンバーがくじ引きで私の抽選番号を当ててくれたり、知り合ったカメラマンさんが本命アイドルに私の話を直接伝えてくれたり、他にも数えきれないほど強く決めたことが具現化するということが人生でいくつも起きまし

た。今だからわかるのは、私は霊媒体質で、直観力と具現化力に恵まれており、良くも悪くも周りのエネルギーを吸収し、それを何十倍何百倍にも拡大する性質を持っていることでした。感覚が優れているということは、言い換えれば繊細すぎるということでもあります。物につき始めてから私は、心の葛藤を抱えるようになりました。

子どもの頃から大人が何を考えているのかが読め、人が望む行動を先回りして行ったり、あえて期待を裏切るように行動したりしていました。十歳の時、家族への絶望と怒りから一家心中を考えました。自分の肉体が受け入れられないストレスから狭心症や摂食障害を経験し、対人恐怖症や鬱のような時期もありました。しかしその事実を知っている人は私以外、誰一人いません。二十代で就職した時は、肉体は生きていのに魂は死んでいるような毎日でした。そんな折、同級生の友人が若くして自らの命を絶ちました。

彼女が亡くなってから私にくれたメッセージは『自分らしく生きて』でした。

私たちのように繊細な人物はどこかで『人とは違う』という感覚を持っています。繊細さゆえに周りの空気を察し、周りのために自分を押し殺してしまう傾向にあるのです。この世の中には、自分に嘘をつけて生きている人が大勢います。嘘を本当だと言いついて自分を苦しめ、制限の中に押し込めながら生きているのです。もし『あなたが持つ繊細さこそが才能である』ということに自覚がなければ、あなたにとってこの世界は生きづらく、

困難に満ちた苦しい世界のように感じるでしょう。真面目に生きていますと『何のために生きているのだろうか？』と疑問がわくことがあります。それは周りの声ばかりに耳を傾け、自分の心の声を無視し続けた結果、本当の自分を見失い、生きていのに死んでいるようなそんな毎日を送っているからです。

あなたは、私のように、一人で悩み、もがき、自問自答し続けることも、自分の意志で悩むのをやめ、天使の助けを得ることもできます。あなたには人生を自由に選択する権利があります。

私たちはわざわざ自分から苦しみに身を置くことを強制されているわけではないのです。『幸せになるために嫌なことを我慢しなければならない』という考えは、自分で課している制限にすぎません。この世界で起こる出来事は、捉える人の立場や観点によって全く違う世界に映ります。自分が感じる感情や直観に従うことが一番の幸せの道です。自分に正直に生き始めると、みるみる流れが変わり始め、楽しいことや学びが多くなり、たくさん素敵な人と出会うようになります。周りに流されずに、自分という軸を保つと自分の中に愛と平穏を感じる事ができるようになり、本当の意味で満たされた豊かな毎日を送ることができるのです。

この本によって、あなたが聖なる導きを知り、人生をより有意義なものに変化させていくてくださることを願ってやみません。繊細なあなただからこそ、自分の人生を自分の意志で創造してください。あなたが生きるこの世界は、あなたが見ているよりもはるかに広大で無限です。あなたの活躍を待っている人たちが大勢います。どう

かあなたが自身の繊細さを才能として活かすことができますように。

※本書で紹介するワークに実際に取り組んだら、年月日と感想、結果について記録してください。本書を読んでいる間に受け取ったメッセージがあれば、忘れないようにメモを取るようになしてください。その記録がのちに、あなたの人生に役立つものとなります。